

# トレーニング及び継続的専門知識の啓発(CPD)ログシート

様式:IRCA/173JP/09/1

記入後、機密書類となる

裏面の指針参照のこと。この用紙はコピーして使ってもよい。楷書で記入すること(該当箇所)



氏名

枚目(合計 枚) 登録番号

1. 日付 (西暦 年/月/日)	2. CPD 時間 (…時間単位 で)	3. 活動の種類 • 体系的 • 半体系的 • 非体系的	4. 活動内容	5. 活動の詳細及びこれが CPD 要求事項を満 たす根拠(関連書類のコピーを添付してくだ さい)	6. 講師/主催者/責任者の連絡先(裏面を参 照のこと) • 企業名 • 連絡担当者名 • 署名 • 組織内での役職 • 連絡先電話/FAX 番号 • E-mail アドレス

# トレーニング及び継続的専門知識の啓発(CPD)に関する指針

様式: IRCA/173JP/09/1



欄 1	日付: CPD が実施された年、月、日 (西暦)。	<p><b>継続的専門知識の啓発 (CPD) についての指針</b></p> <p>CPD は、あなたの専門知識、対人関係における技能並びに力量を継続的に更新することを促す枠組みです。CPD の目的は、審査員として、その有効性を更に高め、審査の職務を更に信頼性の置けるものにする事です。CPD の概念、及び CPD が寄与する価値は、今日すべての職業分野において認知され、受け入れられています。</p> <p>登録更新プロセスの一環として、過去3年以内に45CPD時間以上のCPDを修了したことを実証していただく必要があります。この CPD は広義において審査及びマネジメントシステムに関連するものです。</p> <p>あなたの審査力量を向上させるものであると IRCA が認識するトピックは、その数が非常に多大であるため、ここで挙げることはしません。しかしながら、IRCA は、マネジメントシステム審査員に要求される力量の2つの主要領域と整合する2つの領域にこれらを分類しています:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 技術的に関連するもの(品質、環境、OH&amp;S など)</li> <li>2. 審査関連</li> </ol> <p>同一の方式が万人に対してふさわしいものであるとは考えておりません。したがって、非常に非公式なもの(例: 読書及び独学)から公式なもの(例: 教室を構えたトレーニング)まで、幅をもたせた方法で取得したCPDを認めます。CPDの取得方法には効果的なものもそうでないものもあると考えます。したがって IRCA は、ある活動についてはその他の活動よりも効果があると認める「格付け」方式を採用します。活動は大きく3つのカテゴリーに分類されます:</p> <p><b>a) 非体系的; 3時間 = 1CPD時間</b> このカテゴリーに含まれるものには、評価が実施されずかつ資格取得につながらない通信型・公開型の学習、専門誌及び技術誌、書籍、その他出版物の読書、特定の結果をもたらすように予め計画されているOJTの関連部分などがあります。</p> <p><b>b) 半体系的; 2時間 = 1CPD時間</b> このカテゴリーに含まれるものには、非相互作用の(一方的な)講義、講話等、社会的な非公式の専門機関の会合(例: ネットワークの機会)、研究、講義/コースの準備・初回実施、記事の出版、新しい資格(評価の実施されるもの)の取得を狙いとする公開型・通信型の学習があります。</p> <p><b>c) 体系的; 1時間 = 1CPD時間</b> このカテゴリーの例には、相方向で参加度の非常に高い訓練コースやセミナー、正式な講義が含まれる専門機関の会合、規格の開発における積極的な参加などがあります。</p> <p>各カテゴリーに含まれる活動は広範囲に渡るため、上記に挙げた例は、おおよその例として捉えてください。多くの審査員が3カテゴリーすべてを含む活動の証拠を提出しますが、これは要求事項ではありません。唯一の制限は、非体系的CPDは認められるCPD時間合計の3分の1(=15時間)を越えてはならないということです。</p> <p>提出する活動について十分かつ適切な証拠を提出する責任があります。したがって、あなたは活動の記録を作成・維持し、可能な場合は、これらを正しい手順で検証してもらう必要があります。この目的のために、IRCA では CPD 及びトレーニングログシート(IRCA/173)を用意しております。</p> <p>CPDに関わる情報を、いかに明確で、論理的で、理解しやすいフォーマットで提出するかは、申請者の利につながります。IRCA の登録更新手続の速さはこれに依存するといえます。</p> <p><u><b>この指針と併せて該当する審査員登録基準を読むこと。</b></u></p> <p><u><b>すべての IRCA プログラムで CPD が必要であり、審査員は IRCA ウェブサイト (<a href="http://www.irca.org">www.irca.org</a>) を参照してプログラム一覧を確認すること。</b></u></p>
欄 2	期間: 各 CPD 活動に費やした時間の合計。IRCA は「格付け」方式を採用しています(以下の指針をご覧ください)。	
欄 3	活動の種類: 体系的、半体系的、非体系的のいずれかに分類してください。	
欄 4	活動内容: 活動の種類に応じ、例として次を記録することもできます: 参加した、あるいは実施したトレーニングコース、セミナー、会議あるいは講義のタイトル。読んだ書籍、専門誌、あるいは出版した記事のタイトル。	
欄 5	<p><b>活動の詳細及びこれが CPD 要求事項を満たす根拠:</b></p> <p>CPD の評価にはある程度主観的判断が伴います。各人の実施した活動の価値が測定できることを確実にするため、提出するすべての活動が受け入れられるべく根拠を提供ください。これらは十分で適切な証拠によって裏付けられなければなりません。実施した活動の記録を作成し、保持してください。</p>	
欄 6	<p><b>講師/主催者/責任者の連絡先:</b></p> <p>該当する場合は、IRCA が評価及び検証を実施できるように、あなたの CPD 活動を独立して検証できる人(例えば、講師/主催者/責任者など)の連絡先詳細を提出ください。実施した活動が非体系的、あるいは、この欄に署名や正式な捺印がある場合を除き、<b>必ず連絡先詳細を提供すること。</b></p>	